



ゴクラクトンボ

ゴクラクトンボ

天野祐吉（絵）梶山俊夫

筑摩書房

天野祐吉（あまの・ゆうきち）

一九三三年東京に生まれ、四国松山に育つ。創元社、博報堂勤務などを経て、「広告批評」を創刊。著書に「広告の本」「私のCMウオッチング」「バカだなァ」などの他、絵本の仕事がある。



梶山俊夫（かじやま・としお）

一九三五年東京に生まれる。画家。博報堂勤務時代に天野祐吉と会う。「くじらのだいすけ」がコンビ第一作。「あまがえるとこさいった」「島ひきおに」「梶山俊夫絵本帖」など絵本は数々ある。

ゴクラクトンボ

一九九一年九月二十五日 第一刷発行

著者 天野祐吉

挿画 梶山俊夫

発行者 関根栄郷

印刷 中央精版印刷

製本 中央精版印刷

発行所 筑摩書房

〒一〇一 東京都台東区蔵前二―六―四

振替 東京六―四―一二三

電話 営業〇三―五六八七―二六八〇

編集〇三―五六八七―二六七〇

©Y. Amano, T. Kajiyama 1991

Printed in Japan

ISBN4-480-80303-3 C0093

乱丁・落丁本の場合は、お手数ですが、小社読者係宛にお送り下さい。送料小社負担にてお取替えいたします。

ゴクラクトンボ・目次



ことわざ動物図鑑

7

*

ひしゃくぼうこ

33

わたりぼうこ

39

一つ目

47

ぬくぬく

53

てなが あしなが
手長と足長

69

くじらのだいすけ

75

*

蟲問答 89

ヨウムシ サケノミ ヤケツパチ
ホンノムシ ゴマノハヘ イロカ
クモスケ テントリムシ バンチ
ヤウ カンノムシ ハネムシ フ
サギノムシ ゴクラクトンボ

*

とりとめのない、やりとり——あとがきに代えて

ゴクラクトンボ

装 幀・天野祐吉
カット・梶山俊夫

ことわざ動物図鑑

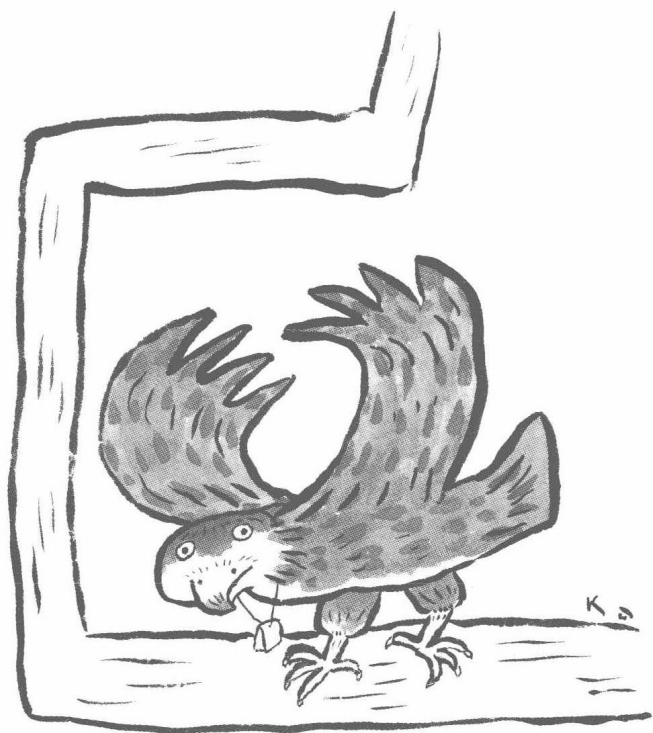
驢馬が旅に出たからって、馬になつて
歸つてくるわけじゃない

えー、あたしや驢馬ですが、人間さんはなんだって、あたしたち動物をたど話に引っぱり出すんですかね。「花子はジャルパックでヨーロッパへ出かけたが、歸つてきても相変わらず花子だった」と素直に言つたほうが、あたしやよっぽどカッコイイと思いますけどね。それに、驢馬が馬に劣るなんて、とってもイヤな見方だと思っていますよ。あたしたちは旅に出て自分を作り変えようなんて、そんなセコイことはこれっぽっちも考えちゃいませんね。



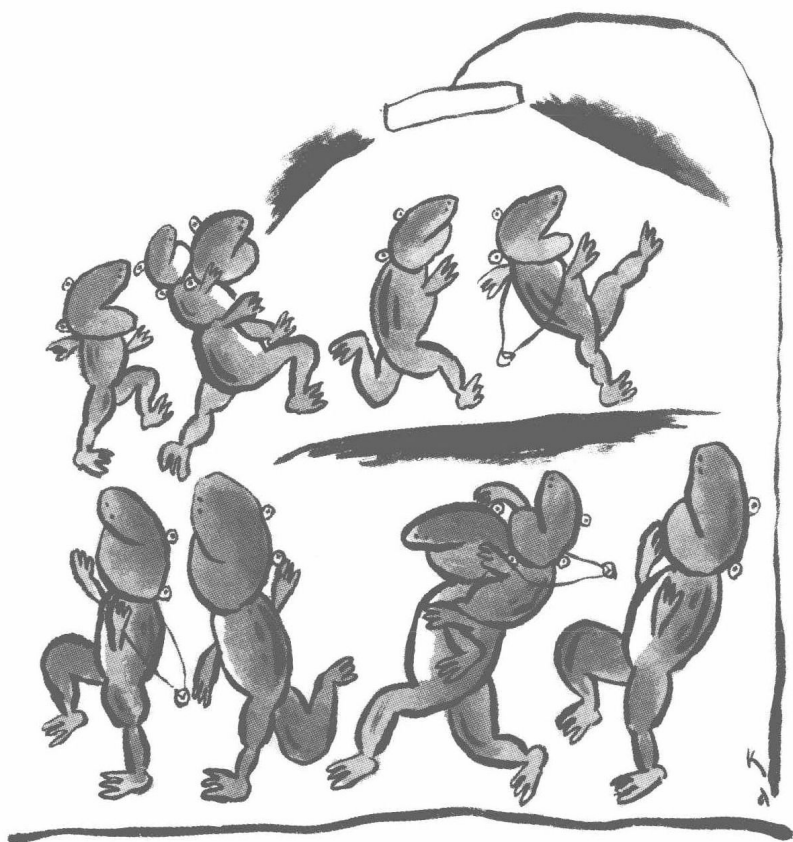
夜鷹の宵だくみ

いえね、毎晩思うんです。明日からはちゃんとしよう。朝はちゃんと起きて、九時からちゃんと仕事にかかって、夕方にあれとこれをちゃんと片づけて。いやもう、自分でも感心するくらい、夜はちゃんと計画が立つんですけどね。それがどうも、朝になると、頭のなかがマッシロケになつてゐる。世間では私のことを、「計画倒れのおたかさん」なんて言つてゐるようですが、でも、やりますよ、私だつて。「やるっきゃない」と、毎晩、心に決めてゐるんですから。



かえるの行列

えーと、かえるです。私たちは根っからの平和主義者です。だからなぜ、向う見ずの人間の集まりを「かえるの行列」と言うのか、まったく理解に苦しみます。人が近づいても私たちが平然としているのは、巷間伝えられるように、私たちの目がうしろのほうについて、前が見えないからではありません。私たちが無抵抗主義を貫いているからです。それをいいことに、私たちの顔に小便をかける挑発的なワルガキもいて、平和を守るのはなまやさしいことではないと、しみじみ感じるきょうこのごろコロコロケロケロです。



猫糞

悪行を隠して知らぬ顔をきめこむ

うんこの正しい仕方をお教えしましょう。まず、地面に直径十センチ、深さ六センチ前後の穴を掘ります。そこにうんこをします。終わったら、土をかけて隠します。この際、姿だけでなく、匂いまで消えるように、こんもりと土をかけるのがコツです。それから、ここがとても大切なところですが、「私はいままでうんこなんてしたことがない」という顔で席に戻ります。日本の政治家はうんこの仕方がうまいと言われているますが、私に言わせれば、まだまだ猫糞修業が足りない。うんこを金庫に粛々と隠したつもりでも、匂いがプンプン残っている。くだいようですが、うんこは「匂わないのが正しい」のです。